

超福祉の 体験実習

VRを使って、いつもと違う視点から眺めてみたり、物事を考えてみたり。最先端の技術に触れて、みんなで一緒に楽しんだり。タブレットを活用して、新しい学習の形に出会ったり。メインプログラムに加えて、実際に体験しながら学びを深める超福祉の体験実習を開催します。



「聞こえない・聞こえにくい世界」を体験するプログラム「Deaf VR」 9月7日(土) ①12:00-12:30 ②14:00-14:30 ③16:00-16:30

牧村 正嗣(株式会社シー・エヌ・エス)

「聴覚障害」とは単純に聞こえないだけではありません。「聴覚障害」と一口に言ってもその「聞こえ方」はまさに十人十色。同じ風景でも「聞こえる人」と「聞こえない・聞こえにくい人」では全く違った風景になります。その理解を広げるためのプログラムが「Deaf VR」です。



発達障害の方が見えている世界をVRで体験してみませんか? 9/8(日) ①13:00-13:30 ②15:00-15:30

本間 美穂(株式会社LITALICO LITALICO研究所)

自閉スペクトラム症(ASD)の特徴の一つとして、知覚過敏や知覚鈍麻といった非定型な知覚があることが分かっています。ここではVR装置を用いて、ASD当事者の方がどのように世界を見ているのかを疑似体験し、当事者の方と周囲の方の相互理解を深めていきます。

※このプロジェクトは、東京大学、国立精神・神経医療研究センター、株式会社LITALICOから構成される「CREST 認知ミラーリングプロジェクト」の一環として行われています。



Antenna — 音をからだで感じる体験型ワークショップ — 9月8日(日) 15:30-16:30

本多 達也(富士通株式会社 Antenna プロジェクトリーダー)

髪の毛や耳たぶ、えり元やそで口などに身に付け、振動と光によって音の特徴をからだで感じる装置「Antenna (オンテナ)」を用いて、聴覚障害者と健聴者が共に楽しむ新しい形を考える体験型ワークショップを開催します。



学習に困難のある子どものPC、タブレット活用セミナー 9月8日(日) 16:30-17:00

大島 友子(日本マイクロソフト株式会社)

視覚や聴覚、腕に障害がある子どもがPCやタブレットを使って学習していることは少しずつ知られてきました。それらに加え、読むことや書くことに困難のある子ども「ディスレクシア」の学習に利用できる製品や機能をご紹介します。

2020年、渋谷。
超福祉の日常展
を体験しよう
SUPER WELFARE EXPO

2019.
9.3(tue)-
9.9(mon)



□メイン会場：渋谷ヒカリエ8階 8/COURT・CUBE(9/3-9/11:00-20:00),
ハチ公前広場(9/7),渋谷駅13番出口地下広場(9/7-8)
□サブ会場：渋谷キャスト スペース(9/7-8)ほか渋谷区内各所に
□Main venue: 8/hachi COURT・CUBE(Shibuya Hikarie) 8F,
Shibuya Station Exit 13 Basement Square(9/7-8)
□Satellite venue: SHIBUYA CAST. SPACE(9/7-8) etc.

超福祉
の学校
2019

障害の有無をこえて 共に学び、つくる 共生社会フォーラム

主催：文部科学省 共催：NPO法人ピープルデザイン研究所
2019.9/7(土),9/8(日) @渋谷キャスト スペース(G階)

文部科学省は、障害の有無にかかわらず、共に学び、生きる共生社会の実現を目指しています。本フォーラムは、「学び×ダイバーシティ」「働く×ダイバーシティ」「次世代×ダイバーシティ」をテーマに、障害のある人、支援者、教育関係者等が思いを表現し、学びあうイベントです。障害のある人もない人も、ちがいを超えて交流・対話し、共生社会の実現に向けて考える10のプログラムを用意しております。どなたでもぜひご参加ください!



http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/1419088.htm

※プログラム、体験実習コンテンツへのご参加は事前申込(無料)が必要となります。申込受付は、8月7日(水曜日)から9月3日(火曜日)までの先着順となります。参加したいプログラムを選んでお申し込みいただけます。
※定員がプログラムによって異なりますので、必ず事前にお申し込みの上、ご参加ください。当日も定員に空きがあればご参加いただけます。また、ご見学いただくことも可能です。

本イベントは、障害理解や障害のある人の学びの場の充実に向けた普及・啓発活動のひとつとして実施されます。そのため、本イベントの様子は、文部科学省のホームページをはじめ、印刷物やSNS等の各種媒体で広報に利用する予定をしておりますので、その点にご留意の上、ご参加いただきますようお願いいたします。(イベントの様子を撮影する際に、顔などが写ることがあります。不都合な方がいらっしゃいましたら、受付の際に職員にお申しつけください。顔などが写らない座席にご案内いたします。)

協力

SHIBUYA CAST.

SHIBUYA CAST./渋谷キャスト

【電車】渋谷駅13番出口より徒歩1分 ○東京メトロ半蔵門線・副都心線 東急東横線・田園都市線「渋谷駅」徒歩2分 ○JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン 東京メトロ銀座線「渋谷駅」徒歩7分 ○京王井の頭線「渋谷駅」徒歩9分 ○JR山手線「原宿駅」徒歩13分 ○東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前(原宿)駅」徒歩9分 ○東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」徒歩12分
【バス】ハチ公バス(タヤけこやルート)「宮下公園前」徒歩2分



【問合せ】文部科学省障害者学習支援推進室

TEL 03-5253-4111(内線3460)

DAY01

9/7(土) 11:00-18:00

セクションテーマ

学び×ダイバーシティ

【未来言語×超福祉】 100年先のコミュニケーションを考える 体験型ワークショップ

「話せない・聞こえない・見えない」状態となり、
新しいコミュニケーションのアイデアを参加者の皆さんと探ります。

- 時間：11:00-12:00 ○定員：30名
- 講師：松田 崇弥（株式会社ヘラルポニー代表取締役 MUKU代表）、永野 将司（株式会社NIHONGO代表取締役）



「凸凹であることを尊重し、凸凹を楽しむ」 シンポジウムセッション

- 第一部 — 学校で共に学ぶ仕掛け —
- 第二部 — 暮らしの中で仲間と出会う —

障害のある子供の自立や社会参加に向けて、生涯にわたり学び続けるために、学校教育段階での多様性が生む共生の学び、個性に合わせた学びのスタイルを見つけていく実践などについて考えます。

- 時間：第一部 12:30-14:00、第二部 14:30-16:00 ○定員：70名
- コーディネーター：田中 裕一（文部科学省 特別支援教育調査官）
- 登壇者：第一部 山中 ともえ（東京都調布市立飛田給小学校長）、岡田 克己（神奈川県横浜市立仏向小学校教諭）
第二部 綿貫 愛子（東京都自閉症協会役員/NPO法人リトルプロフェッサーズ副代表）
河高 素子（発達障害当事者・大学生/DO-IT japan プログラム2013年スカラー）
須藤 シンジ（NPO法人ピープルデザイン研究所代表）



みんなで学び、つくる共生社会ワークショップ — 多様な当事者・支援者が、日頃の悩みや課題を共有し、 解決に向けたアイデアを出し合う —

登壇者からのヒントをもとに、多様な当事者・支援者が、日頃の悩みや課題を共有し、
解決に向けたアイデアを出し合うワークショップを行います。

- 時間：16:30-18:00 ○定員：40名 ○ファシリテーター：森 祐美子（認定特定非営利活動法人こまちぶらす理事長）



超福祉の学校2019 ライブペインティング

9月7日(土)、今年もThe Blue Love
sense+KAZが、ライブペイントにて
超福祉の学校を彩ります。



DAY02

9/8(日) 10:00-18:30

セクションテーマ

次世代×ダイバーシティ

No one will be left behind

— 誰一人取り残さない社会に向けた次世代による取り組み —

これからの日本の教育を背負って立つ、
次世代の若者たちによるテーマごとの発表やワークショップです。

- 時間：10:00-13:00
- 定員：40名
- テーマ（登壇者）：高校生が日本の環境保全の在り方を模索（Loochcs 高等学院）
「まじりあった社会づくりにつながるプロジェクト」報告（学校法人滋慶学園 東京福祉専門学校）
「かながわ憲章」を若者に到達させるクリエイティブとは（学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校）
「誰一人取り残さない」世界のために私たちができること（EMPOWER Project）



セクションテーマ

働く×ダイバーシティ

わくわくする仕事づくり。 就労体験プロジェクト

NPO法人ピープルデザイン研究所が川崎市と共に2014年から拡大、展開している障害
者の就労体験プロジェクト。“働く”という体験が生む学びについて考えます。

- 時間：13:30-15:00
- 定員：70名
- コーディネーター：須藤 シンジ（NPO法人ピープルデザイン研究所代表）
- パネリスト：鈴木 順（株式会社川崎フロンターレ）
葛谷 将司（株式会社DeNA川崎プレイブサンダース アリーナオペレーション部）
平井 恭順（川崎市障害者雇用・就労推進課）



障害のある人と ともにはたらく

当事者が活躍している現場の事例をきっかけに、共に働くこと、障害のある人が活躍す
ることで生まれる学びについて考えます。

- 時間：17:00-18:30
- 定員：70名
- コーディネーター：須藤 シンジ（NPO法人ピープルデザイン研究所代表）
- パネリスト：大胡田 裕（静岡県立沼津城北高等学校教諭・視覚障害当事者）
金沢 直（埼玉県立白岡高等学校教諭・視覚障害当事者）
柳澤 好治（文部科学省教育人材政策課長）
木村 幸絵（ソフトバンク株式会社 人事総務統括 CSR統括部CSR部）
近藤 武夫（東京大学 先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 准教授）

